

# 西山町商工会景況調査報告書

組織番号 074

商工会名 西山町商工会

報告者名 吉田 功

## 1. 調査要領

### (1) 調査対象

- ア 対象地区 西山町商工会地区内小規模事業者  
イ 調査企業数 15 事業所 (うち小規模事業者数 15 事業所)  
ウ 回答企業数 15 事業所 (うち小規模事業者数 15 事業所)  
(回答率 100.0%)

### (2) 調査対象期間

- 平成29年7月～平成29年12月  
(調査時点 平成29年12月1日)

### (3) 調査方法

- 経営指導員等による巡回または窓口によるヒアリング調査

### (4) 調査対象と回答企業の構成

	調査対象		有効回答	
	企業数	構成比	企業数	構成比
製造業	0	0.0%	0	0.0%
建設業	7	46.7%	7	46.7%
卸・小売業	4	26.7%	4	26.7%
サービス業	4	26.7%	4	26.7%
合計	15	100.0%	15	100.0%

## 2. 地域内産業全体の景況概要

5年以上続いていると言われる現在の景気回復局面ではあるが、輸出主導企業や大メーカー等の波及効果が少ない当地域においては恩恵を感じにくく、逆に少子高齢化や人口減少などの影響が、市場の減少・人手不足となって現れている。  
後継者難から事業への投資も躊躇われ、需要の停滞や競争の激化、今後予定される消費増税などの不安要素から先行きに懸念を抱く事業者は多い。

### 【後継者の状況】

後継者無しの回答が過半を占めた。卸・小売業等にその割合が高い。

後継者 あり	7事業所	46.7%
後継者 なし	8事業所	53.3%

### 【売上高】

前回調査に比し売上高「不変」の回答が減り「減少」の回答が増えた。  
特に今後の見通しでは「増加」は皆無で、厳しい見方を示している。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
増加	不変	減少	増加	不変	減少	増加	不変	減少
3	2	10	1	1	12	0	2	12

### 【採算】

前回調査では「好転」との回答もあったが、今回は皆無。  
採算「悪化」が増加している。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化
0	4	9	0	3	9	0	2	9

### 【仕入単価】

「上昇」「不変」「低下」それぞれで、事業者によりまだら模様を見せている。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
5	4	5	3	5	4	4	4	4

### 【販売（客）単価】

「低下」の回答が多く、今後についても厳しい見方をしている者が多い。

前年同期比			前期比			今後の見通し		
上昇	不変	低下	上昇	不変	低下	上昇	不変	低下
1	4	8	0	4	8	0	3	8

### 【資金繰り】

全般的に資金需要は低調と言われているが、前回調査より「悪化」の回答が多くみられた。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
1	5	7

#### 前期比

好転	不変	悪化
1	4	7

#### 今後の見通し

好転	不変	悪化
1	5	7

### 【雇用動向】

前回調査に比し「減少」との回答が目立った。  
人員確保を課題にあげたコメントも見られ人手不足感が感じられる。

#### 前年同期比

増加	不変	減少
0	7	5

#### 前期比

増加	不変	減少
0	6	5

#### 今後の見通し

増加	不変	減少
0	6	5

### 【景況判断】

卸小売業では全回答が「悪化」となり、全体でも「好転」との回答はみられなかった。依然として先行きに不安感が色濃い。

#### 前年同期比

好転	不変	悪化
0	4	10

#### 前期比

好転	不変	悪化
0	3	9

#### 今後の見通し

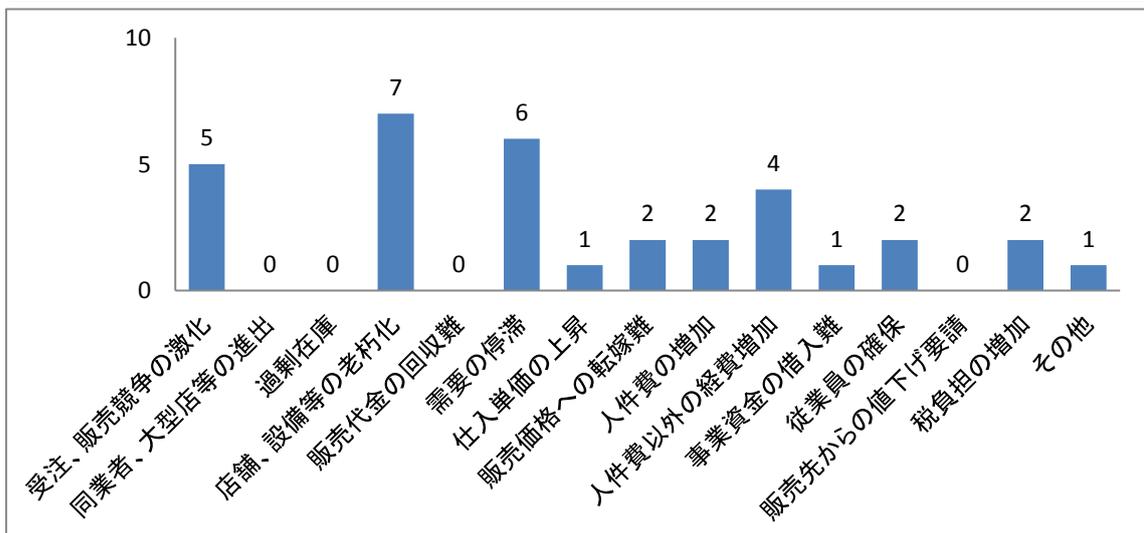
好転	不変	悪化
0	4	9

### 【経営上の問題点】

「店舗・設備の老朽化」「需要の停滞」「受注・販売競争の激化」などの回答が目立った。

少子高齢や人口減少などが需要の停滞感に繋がり、経費の増加などで店舗・設備の更新がままならないまま、激化する競争に巻き込まれ、増税の不安や人手不足から先行きが見通せない状況にあることが見て取れる。

後継者がいないので積極的な設備投資に踏み切れないとの声も聞かれた。



### 3. 産業別景況概要

#### (1) 製造業

今回調査対象に含まれた事業者はいないが、地区内進出企業等は工作機械・車両部品・建材などを中心に概ね順調な様子である。原材料・経費の高騰や人材不足が今後の懸念材料とされる。

下請業者においては加工単価の「値下げ要請」圧力が強まっているという。なお、調査期間中に「競争激化による受注不振」を原因としての廃業が1件あった。

#### (2) 建設業

「受注・販売競争の激化」「需要の停滞」を問題点とする者が多く、ハウスメーカーとの競合に苦戦する地場工務店という図式が窺える。

新築住宅の着工が市街地に集中する傾向も見られ、関連の職別工事業者にも影響が大きい。

「経費や税負担の増加」や「従業員の確保」を問題点とした者もあった。消費増税による駆け込み需要とその反動などを心配する声も聞かれる。

#### (3) 卸・小売業

「店舗・設備等の老朽化」「販売競争の激化」「需要の停滞」「需要の停滞」を問題点とした者が多い。

少子高齢・人口減少等で市場が萎んでいくなかで調査項目のほとんどが「減少・悪化」等の回答に占められており、回答者の全員が「後継者無し」としているのも不安な点である。

#### (4) サービス業

「店舗・設備の老朽化」「需要の停滞」「人件費の増加」「従業員の確保」のほか「自身を含めた従事者の高齢化」問が題点として挙げられた。

調査項目全般に他業種に比べ「減少・悪化」の回答が少ない傾向にあった。

なお、調査期間中に販売不振が続いての資金繰りが悪化を原因とした廃業が1件あった。

